†

児童養護施設

サーフサイドセヴン茅ヶ崎ファーム

社会福祉法人　茅ヶ崎学園

あゆみ　2021

2021.4～2022.3　事業報告

γινεσθε ουν μιμηται του θεου ως τεκνα αγαπητα

be ye therefore followers of God, as dear children

愛されている子として　神に倣う者になりなさい　Eph.5:1

και περιπατειτε εν αγαπε

walk in love

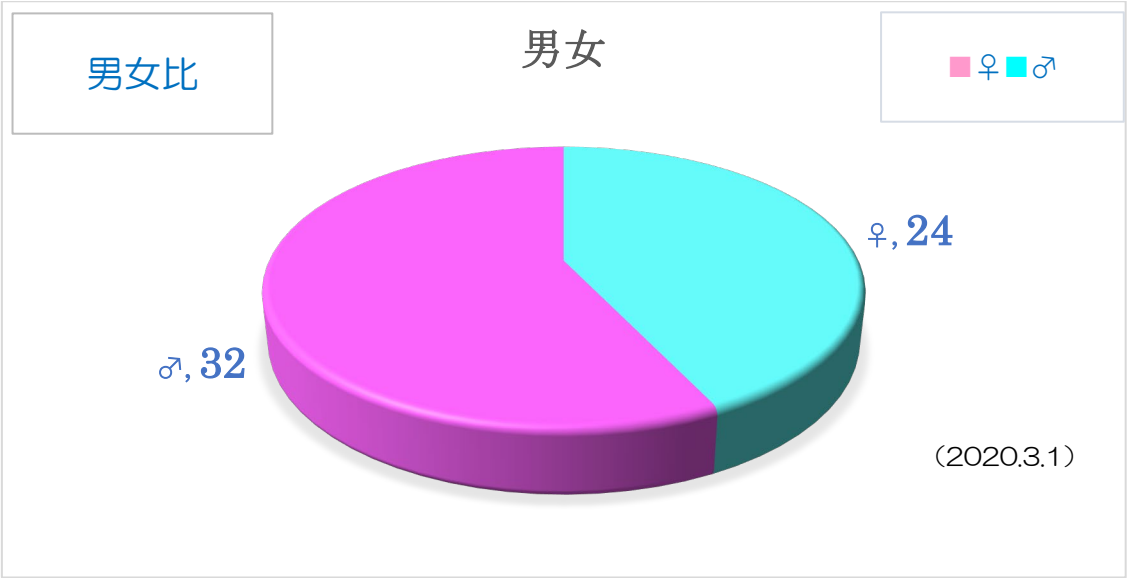
愛のうちに歩みなさい　Eph.5:2

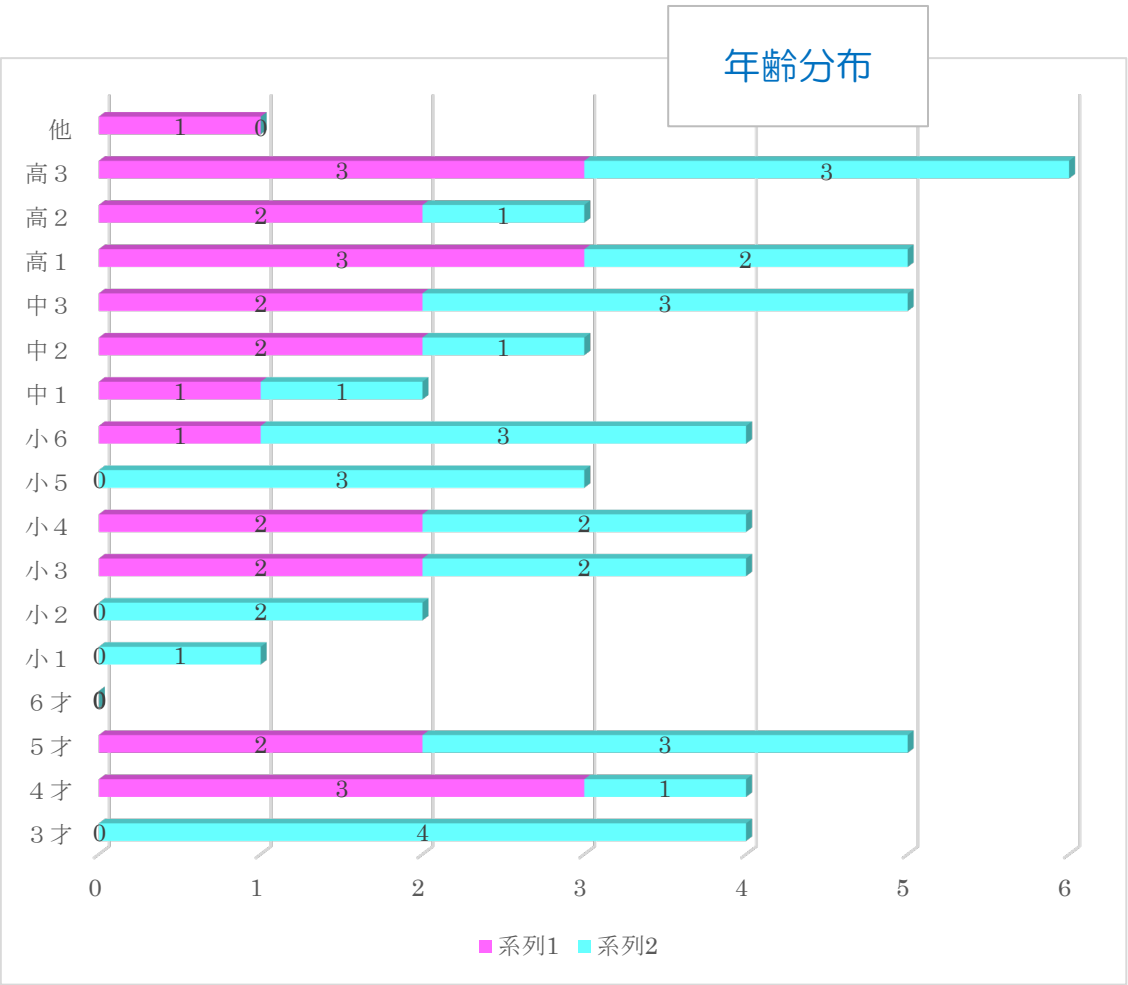
ως τεκνα φωτος περιπατειτε

walk as children of light

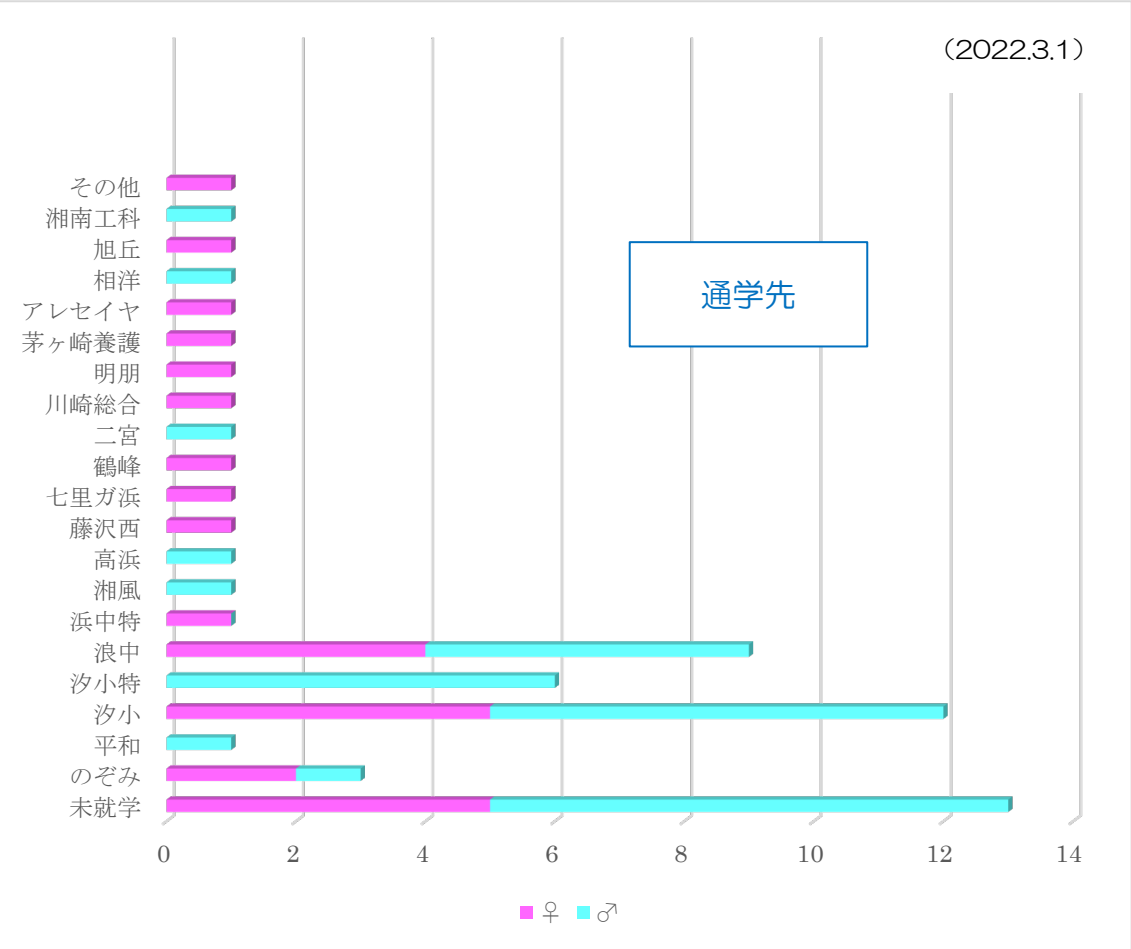
光の子らしく歩みなさい　ph.5:8

ss7c.com

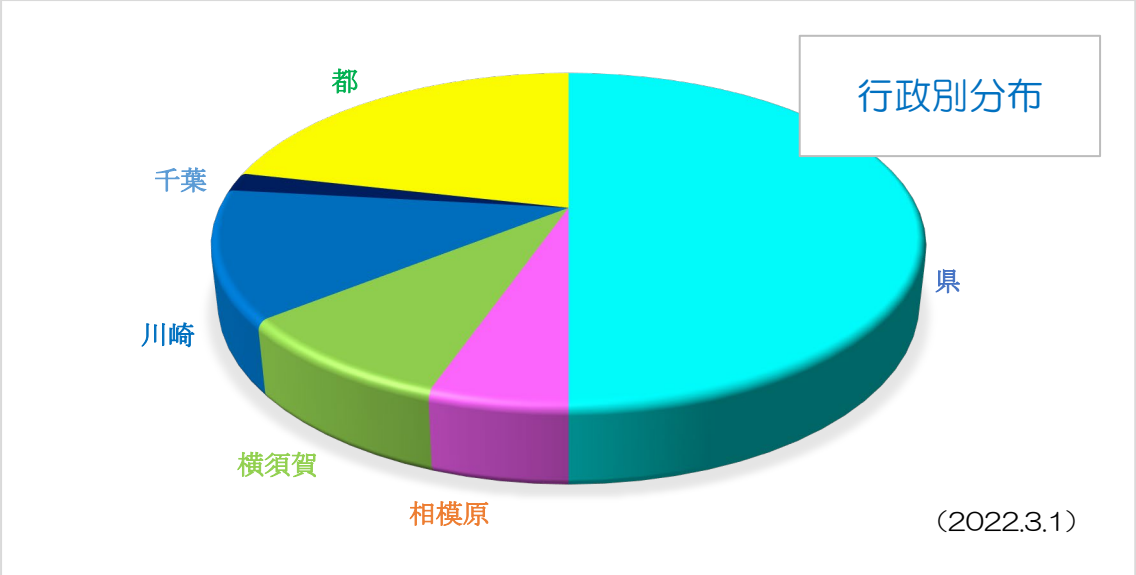




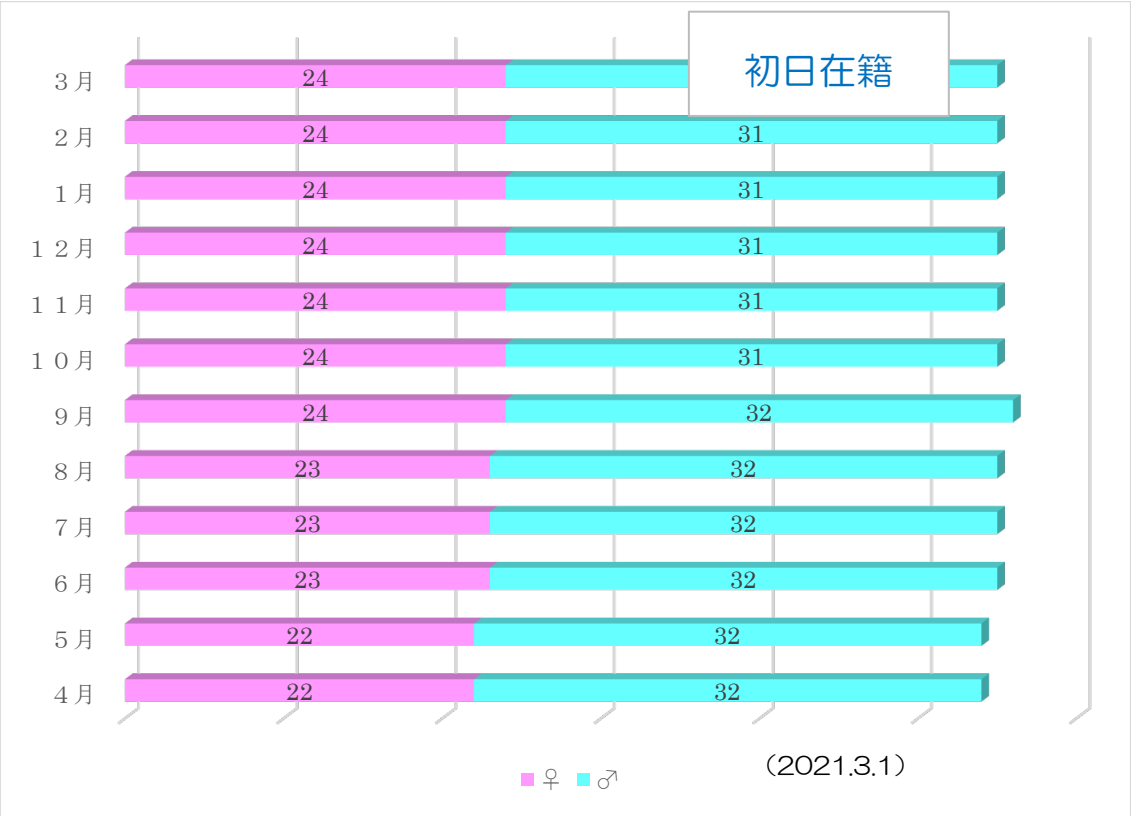
★「他」は　専門学校１年生（措置延長）

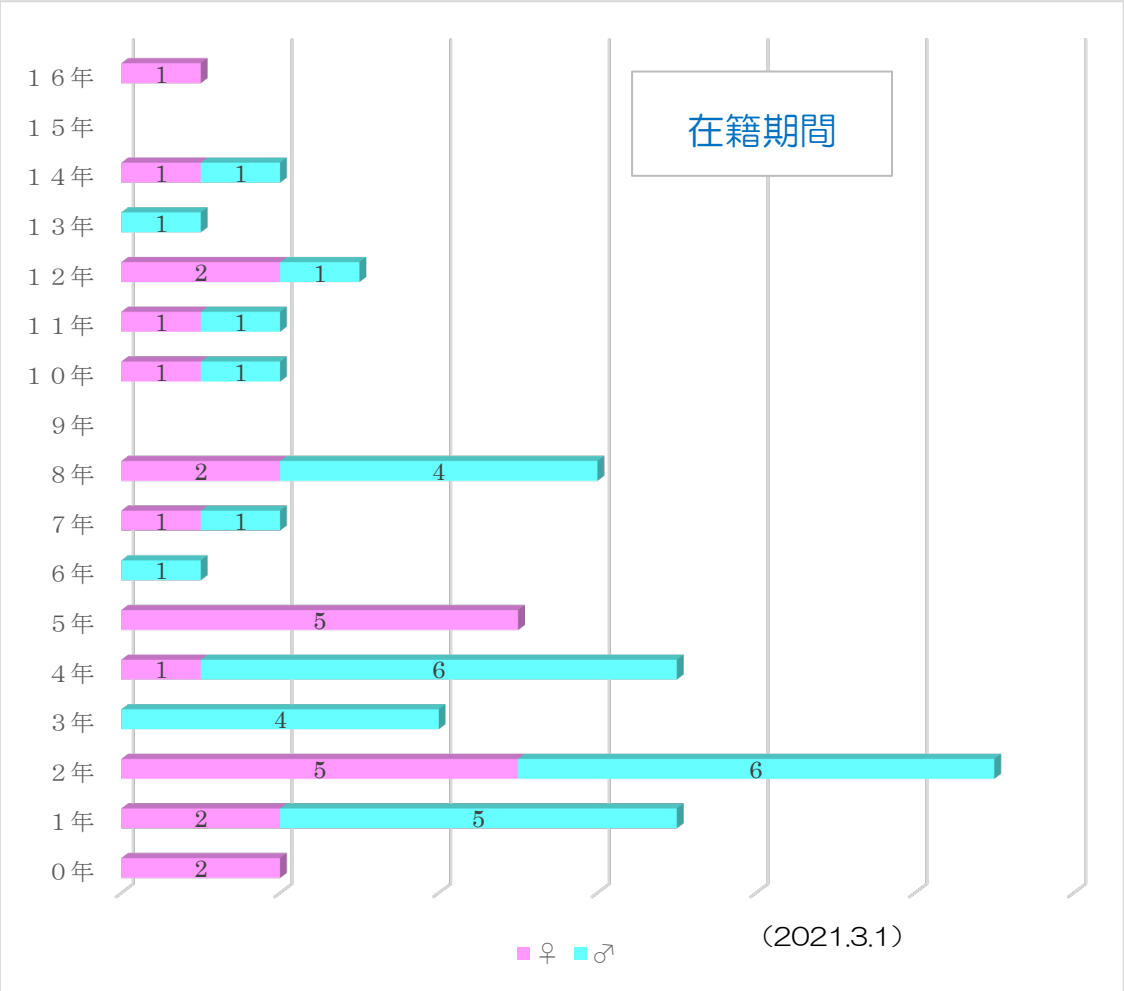


その他	湘南歯科衛生士専門学校		
湘南工科	湘南工科大学付属高等学校		
旭丘	旭丘高等学校		
相洋	相洋高等学校		
アレセイヤ	アレセイヤ湘南高等学校		
茅ヶ崎養護	県立　茅ヶ崎養護学校　高等部（特別支援学校）		
明朋	県立　明朋高等学校（通信制）		
川崎総合	川崎市立　川崎総合科学高等学校		
二宮	県立　二宮高等学校		
鶴嶺	県立　鶴嶺高等学校		
七里ガ浜	県立　七里ガ浜高等学校		
藤沢西	県立　藤沢西高等学校		
高浜	県立　高浜高等学校		
湘風	県立　湘風高等学校		
浪中	松浪中学校	浜中	浜須賀中学校（特別支援級）
汐小	汐見台小学校		

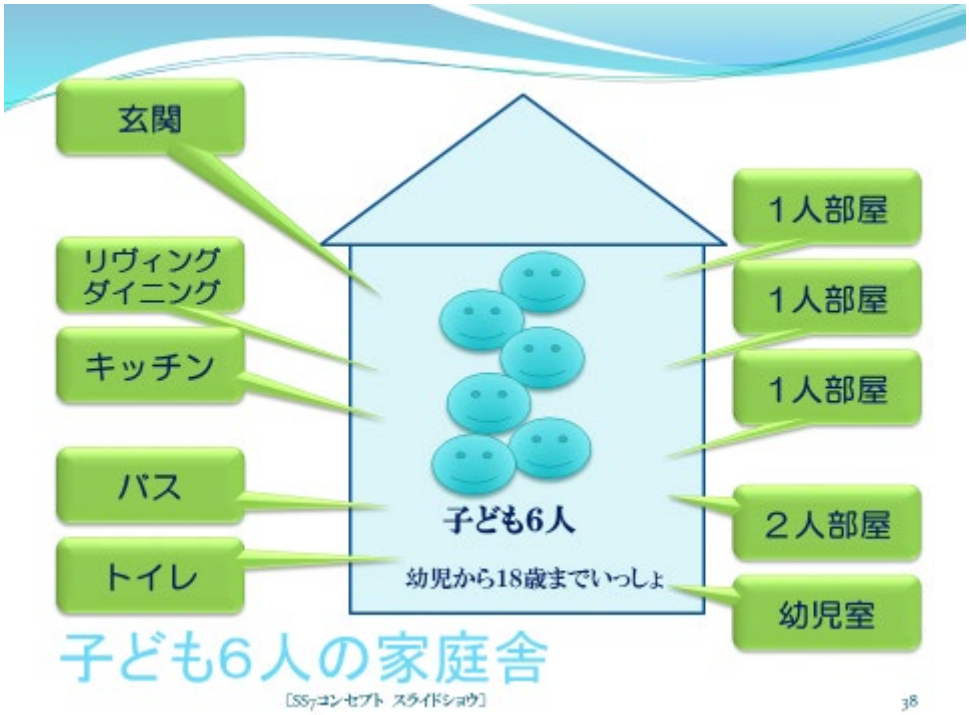


県	厚木／小田原／鎌倉三浦／中央／平塚／大和綾瀬
相模原	
横須賀	
川崎	子ども家庭センター／南部／北部／中部
千葉	千葉中央（川崎から割愛）
都	足立／江戸川／江東／品川／北／世田谷


初日在籍
３月 24
２月 24 31
１月 24 31
１２月 24 31
１１月 24 31
１０月 24 31
９月 24 32
８月 23 32
７月 23 32
６月 23 32
５月 22 32
４月 22 32
♀ ♂
（2021.3.1）


在籍期間
１６年 1
１５年
１４年 1 1
１３年 1
１２年 2 1
１１年 1 1
１０年 1 1
９年
８年 2 4
７年 1 1
６年 1
５年 5
４年 1 6
３年 4
２年 5 6
１年 2 5
０年 2
♀ ♂
（2021.3.1）

〔癒しのための巣作り〕



「子ども６人の家庭舎」養護１５年目を終えた。
2021 年
トータルテーマ“癒しのための巣作り”に励んだ。

■　「家の暮らし」　定着

目の前の調理

食卓の団らん

●子ども６人の食卓。
●ランチョンマットに食器を並べ　「食卓の団らん」を大切にした。
●ベテラン主婦たち（非常勤調理員）自慢の味付けを堪能した。

個々にフォーカスした対応

●幼児の日中　＝幼児１～２：職員１　愛着関係を醸成した。
　　庭遊び　おさんぽ　そうじ　せんたく　日常の買い物ほか
　　常に一緒に過ごした。

●３人「川の字」
幼児の就寝　＝「幼児１～２：宿直１」
安心と共に眠る。

【コロナ禍　出かける機会を探った。

●“パン屋へパンを買いに”
●“買い物”“遊び“　できるだけ個別に出掛けた。
●衣類の買い物　１対１。
その子の心を充足。
新しい服を着ることは
「温かみ」「喜び」を着ること。
「安心」や「満足」を着ること。
●図書館　プールへも　少人数で。
●テーマパーク・アミューズメント施設・招待行事へも少人数で。

●生活すべてにわたり　個々にフォーカスした対応を心掛けた。
一人ひとりの生活ぶりを　個別に検証した（全児童対象）。
（交友　衣類　学習　部活　課外活動　外出　習い事　旅行
買い物　プレゼント　…　）

暮らしをデザインする

■　茅ヶ崎ファームは暮らしをデザインする。
そのデザインを子どもに見せる。

建物　家具照明　食卓の配膳　職員の立ち居振る舞い
・・・すべて。

<u>暮らしの中心は食</u>
「栄養素」と同時に　「安心」「信頼」「色彩」も食べること。
「体」をつくり　「情緒」を育てること。
「素のままの食材」「調理する音」「匂い」「立ち上る湯気」「色彩」「盛り付け」「食器の並べ方」「おしゃべり」　…
そこに団らんがある。

集団の論理を排除し

安定した　穏やかな人間関係と
「家」のような暮らしに“手マ・ひま”をかけた。

植物も　踏み固められた土では良く育たない。
だから耕す。耕して空気をすき込む。
淡々とした日々の繰り返し。
茅ヶ崎ファームがデザインを見せることは　「感受性」「価値観」「美意識」を育むこと。
2021 年も　職員全員がそれを意識し　実践した。

「おれんち」「あたしんち」

〔小さな暮らし〕

子ども６人の家庭舎では
“我が家”の暮らしを実践した。

●パン屋へパンを
　スーパーへ食材を買いに。
●美容室　床屋へも　“お金を払って”。
●図書館へ。映画へ。
●“お出かけ”には　電車バスを利用する。

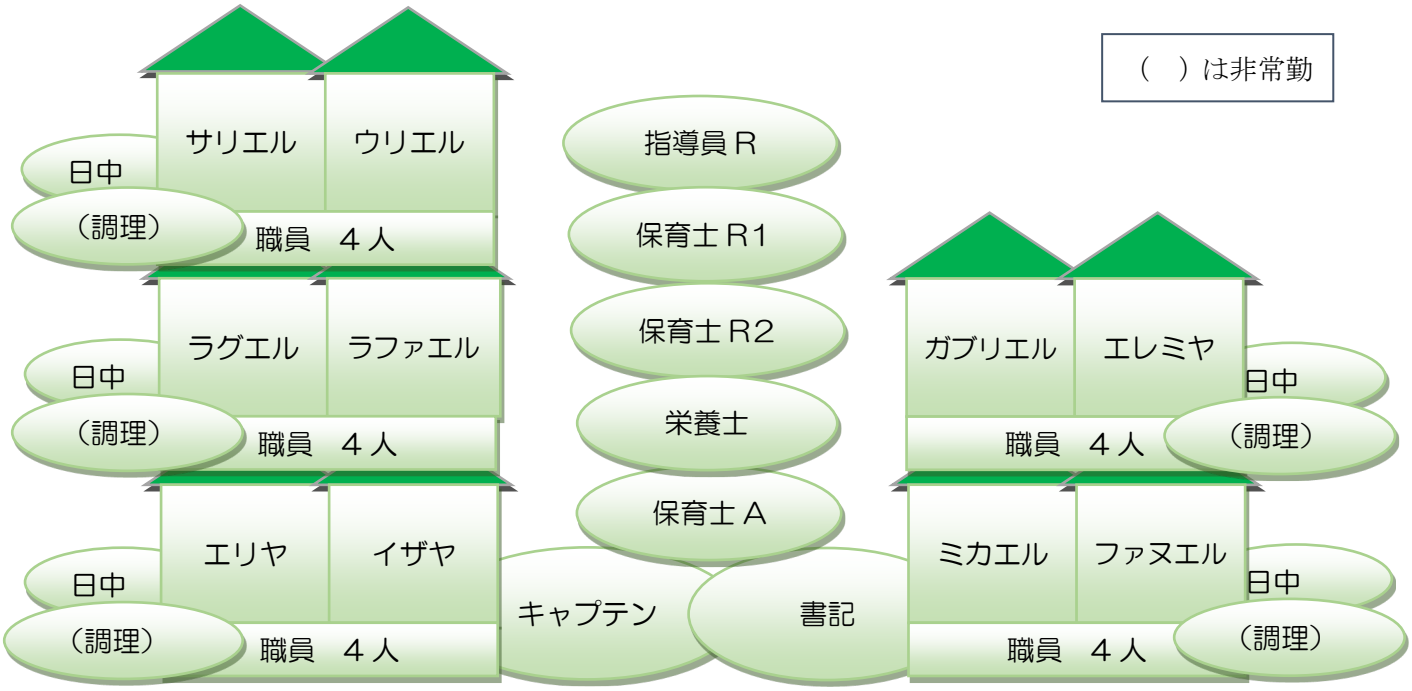
幼児～18 才まで
「男女混合」「年齢縦割り」
●3 食　365 日　目の前で調理し
食卓の団らんを大切にし　家庭のような暮らしを実践した。

小さな暮らしは　情緒の安定のため。
●夜　幼児は宿直職員と　「3 人川の字」で寝る。
すぐ横に大人が添い寝している大きな安心感。
●日中　幼児はほゞ1 対 1（～2）を実現できた。

●「ただいま」と帰る子どもに
　調理しながら「おかえり」と迎える職員。
　　「中間管理職」　「専任職」をできるだけ排除し
　　子どもの暮らしに寄り添う職員を多く配置した。

●“家計のやり繰り”を職員がすることで　“暮らしを紡ぐ”実感を持てた。
（２軒長屋で≒２８０万円＝「長屋の家計」参照）

〔長屋の互助〕　（２軒長屋　×５棟　＝１０軒）



●１軒子ども６人の家庭舎　×　２　＝　２軒長屋
●「長屋チーム４名」（通常３～２名勤務）
　＋　「日中対応１名」　＋　「調理補助１名」

●各長屋は　時間的　物理的　人員的　経済的に独立した営みをもっているが
「集合住宅」としての「互助」を　仕組み的にも意識的にも機能させている。
●建物は　各家がすべて中庭を挟んで向き合っている。
緊急時には　互いに顔を見　声を掛け合うことが自然にできる。

「互助」の仕組みと　建物のレイアウトは　孤立を防ぐ基本的要素。

【職員に欠員が生じたため
　　２軒＝１長屋を分散
　　８軒＝4 長屋体制で過ごした】

〔長屋の家計〕職員がやり繰りした小口現金　2021 年度決算

（長屋としての支出のみ）

長屋ごとの裁量で「家計をやり繰り」した。
生活全般に亘り　一人ひとりを見つめ　予算立てをし　執行。
全児童　全項目の細部に亘り　全員で評価した（年２回）

●フリーメニュー用食材／誕生日用食材／おやつ／パン／外食ほか
〔いつだって目の前の調理でアツアツごはん〕
〔フリーメニュー＝長屋オリジナルのメニュー＝夏休み40日間など〕
〔誕生日は手作りケーキがいいね〕
〔パン屋でパンを買おうッ！〕

●衣類／日用品／外出／旅行／写真ほか
〔子どもと一緒に衣類のお買いもの〕
〔ちゃわん　お箸　シャンプーリンス　ティッシュペイパー〕
〔家族旅行は温泉かッ！〕

●教育費＝小・中・養護学校（入学支度／集金その他）

●教育費＝高校・幼稚園費用　その他

●修繕／旅費／駐輪駐車料　その他
〔修繕はごく小規模なもののみ〕

●その他の買い物
しょうぶ湯の「しょうぶ」　ゆず湯の「ゆず」
猫のエサ　金魚のポンプ　友だち宅へ遊びにゆくときの手土産（お菓子）

家の暮らしを実践した。

〔部活／学習塾／習いごと〕

「外へ！」の合言葉

社会の一員であることを自覚できるよう
社会との接点を増やすことを積極的に心掛けた。
「学校へゆく」「部活をやる」「塾へ行く」「習い事をする」

学校は勉強するだけではない。
授業も部活も　人との関わりの重要な接点。
塾も勉強だけではない。
学校以外での　自分の立ち位置の確認も大事。
習い事により　学校以外の世界へも視野を広げた。

●小学生（措置費の実費支給）
「地域のクラブ／教室」へ積極的に。
（サッカー／ピアノ／水泳／ラグビー）
「公文教室」　子どもにより地域の教室へ。
一人で通室できない子は　家庭学習（公文式学習）
「公文式学習」は　学習の習慣づけとして継続している。
10 年以上経過し　生活サイクルに根付いている。
基礎学力の底上げの意味合い　＋　総体的に学力は上がっている（印象）

●中学生（措置費の実費支給）
ほゞ全員が学校の「部活」へ参加。
ほゞ全員が地域の「学習塾」へ。
通塾先はできるだけ分散（馴れ合い感を防ぐため）
中学特別支援級・養護学校高等部の生徒は「公文教室」通塾。

●「中学部活」＝用具・ユニフォーム・交通費ほか（措置費から実費支給）
（このほか　＋奨励費としてファーム独自の支援あり（お小遣いと同額））
●「習い事」＝月謝・交通費ほか（「学校外活動費」を活用）
●「学習塾」＝授業料・交通費（措置費から実費支弁）
（通塾先はできるだけ分散（馴れ合い感を防ぐため））
（科目数　コマ数の違いにより費用に差あり）

〔個別の活動と費用〕（2021 年度　長屋の家計＝小口現金）

「個別の活動と費用
別紙

●衣類＝
　　子どもと一緒に買い物
　　家族から多く買ってもらう子　中途入所の子など　金額に差

●旅行＝
　　交通費・宿泊費・飲食代

●招待＝
　　飲食代
　　部活・アルバイトで忙しい中学生は少ない

●誕生日＝
　　プレゼント代・食材費

途中退所の子は省略

〔コロナ・ウィルス陽性者　発生〕

2021.7月
感染者発生　職員１名。
　　実家へ帰省した際　感染したものと推定。
　　（父親が発熱していた。父親の陽性判明。続いて母親の感染も）

２週間　出勤停止。自宅療養（ファーム職員寮）。
濃厚接触者　＝児童４名　＋　他職員１名。
それぞれ症状なし。
児童４名は別棟で隔離生活（自宅療養）。
濃厚接触者１名　出勤停止（自宅療養）。

児童４名は　当該家庭舎で勤務した職員２名で　昼夜　対応した。
後に濃厚接触者の職員１名が（症状がないので）ここへ復帰。計３名で対応することになったが　昼夜　４名の児童を担当することは過度の負担を掛けた。

【非常事態で何もできない保健所】
みな戦々恐々としている状況で　その他の児童　職員の安心のため　当該の家庭舎＋隣の家庭舎　計残り８名の児童　及び勤務した職員の PCR 検査を依頼した。
ところが保健所の返答は　「検査はしない（できない）」と。
県へ相談すると　「児童養護施設は優先してもらえるよう特に要請してあるので　検査はしてもらえるはず」とのこと。
しかしこれに対する保健所の返答は「判断するのは保健所ですから」とツッパネられた。
隔離生活は指示しておきながら検査はしない。＂緊急事態に何もできない保健所＂が露呈した。
＂自宅療養＂でみすみす亡くなった人が何人出たか。
これがトリアージ！　いざとなると権力は弱者を見捨てるという構図があからさまになった。

仕方なく民間検査機関で実施。
常勤＋非常勤職員　全員を時間割り調整し３日間　車にてピストン送迎した。
通常検査料　１万円／変異株検査をセットの場合　＋５千円。
ただし通常検査で陰性の場合でも　＋５千円の返金はない　！
明らかな＂ボッタクリ＂　人の弱みに付け込んだ悪徳商売。衝立の向こうで誰かが高笑いしていただろう。

〔招待〕

●

招待は　希望する子を対象に。
家ごと　少人数でお出かけした（1：1の場合も）。
（個別を基本。集団行動はしない）
幼児・小学生が主。部活・アルバイトで忙しい中高生はあまり参加なし。

【コロナ禍で招待行儀が激減 また自粛もした】

2021	9	オンライン「出張工場見学」	ニチレイフーズ
	10	オンライン「出張工場見学」	ニチレイフーズ
	11	サッカー：レッズ VS マリノス	三菱広報委員会
	11	未来につながる環境教室	ノエビアグリーン財団
	11	君も博士になれる展	テレビ朝日福祉文化事業団
	12	オンライン「サッカースクール」	MS＆AD ホールディングス 日本プロサッカー選手会
	12	F コネ　フットサル	F-connect
2022	1	木下大サーカス湘南鎌倉公園	木下大サーカス
	3	社会への巣立ちフェスティバル	資生堂社会福祉事業団
	3	オンライン「ディズニーエヴェント」	みらいこども財団

敬称省略

大学生誕生　在籍で初！

◆上智大学・英語学科へ見事合格！
措置延長も同時に決まり　在籍のまま通学する初の大学生が誕生した（2021 年４月入学）。
“自立援助ホームで出来る子ことは児童養護施設でもできる”とのかねてよりの主張が　４大生誕生というカタチで実践できた。

彼は小学生の頃から地域のサッカークラブで熱心に活動し　中高でも当然のようにサッカー部へ入部。庭にマーカーを並べ　一人黙々とドリブル練習に励むストイックな少年であった。また　通っていた公文教室では　小学生時代「特待生」の栄誉も得た。
上智・英語学科は第一志望であり　真摯な努力を重ね　初志を実現させたことが称賛に価する。ほんとうにおめでとう。

◆近年　奨学金でも返済不要のものが次々に創設されている（しかも高額）。これに加え　国の就学支援制度も急激に充実してきた（日本学生支援機構）。
もはや　"児童養護施設＝貧困家庭"ではない。高卒後の進学の可能性が一気に広がっているのだ。
しかし　こうなると当然違った問題も起こってくる。
児童養護施設でも高校進学が当たり前になって久しい。が　進学と言っても　神奈川県内で"定員割れ"の高校は珍しくない。そんな高校へは向上心のまったくない中学生が入学している。それと同様　これからは小中高まったく努力しないまま　とりあえずモラトリアムで大学進学する子も増えるということだ。

今　日本ではあちこちの大学（短大・専門学校）で欠員状況が多発している。闇雲に大学を増やしたためだ。どこもその埋め合わせに躍起となっており　教育理念などそっちのけ　"集客最優先"状態なのだ。つまり高３生は"お客様"である。
一方　産業界では人手不足倒産も数年前からの課題であり　各企業新人のみならず社員確保にさえも知恵を絞らざるを得ない。
新規採用後　３ 年以内に転職する割合が 7 割と聞いた。その証拠に？転職サイトは花盛り。しかもなんと　転職サイトに登録している人の８割は就職１年目の人だという。つまり「転職ありき」で就職しているわけだ。
そんな"転職前提"の就労状況を反映して　最近は「退職代行サーヴィ

ス」なるものが繁盛しているらしい。会社とメンドウなやり取りをせず気楽に退職したい人が多いからだろう。

あらゆることが手軽に気楽に実現できてしまう時代。手に入れることがた易いから避けることにも罪悪感はない。

高校を卒業すれば大学が大手を広げておいでおいで。大学を卒業すれば企業が揉み手をして大歓迎。完璧なる売り手市場だ。大学も企業も（そして児童養護施設も）　そんな時代に対応していかなければならない。

〔高卒進路〕

★ 上智大学外国語学部英語学科　合格。
措置延長で茅ヶ崎ファームより通学予定。
奨学金受給。
（日本学生支援機構／朝日厚生文化事業団）

★ 歯科衛生士専門学校　２年生へ進級予定。
措置延長で茅ヶ崎ファームより通学中。
奨学金受給。
（日本学生支援機構）

★ 就労予定　ー措置延長
措置延長で茅ヶ崎ファームより通勤予定。

●（２０２１年度３月卒業）

♂	県立 藤沢西高校　⇒	上智大学 外国語学部	措置継続 ファームより通学 奨学金受給	継続
♂	県立 七里ガ浜高校　⇒	都市大学 理工学部	自活・実父支援	退所
♀	県立明朋高校 （通信制）　⇒	就職（製造業	措置継続 ファームより通勤	継続
♀	県立茅ヶ崎養護学校　⇒		グループホーム入居	退所
♂	湘南工科大付属高校　⇒	情報科学専門学校	自活・奨学金受給	退所
♀	旭丘高校　⇒	就職（製造業	実姉と同居	退所

〔小・中・高　新入学予定〕

●幼・小・中・高　新入学（２０２２年度４月より）

高等学校	♂	２名	県立	海洋科学高校
	♀	１名		中央農業高校
	♀	１名		藤沢工科高校
	♂	１名	私立	平塚学園
中学校	♀	１名	市立	松浪中学校
	♂	２名		
	♂	１名		浜須賀中学校（特別支援級）
小学校	♂	３名		汐見台小学校
	♀	２名		
幼稚園（１年保育）	♀	３名	私立	のぞみ学園

〔健康管理〕

●身体測定

＝毎月１回　実施。身長・体重

●健康診断

嘱託医による健診（Dr 長岡・小児科医）

＝一人当たり年２回

●嘱託医には　年間を通じ　頻繁に相談・受診した。

発熱の対応・ワクチン接種など　（コロナ関連を含む）

●受診状況（年間の受診件数　定期・臨時）

通院の「行き帰り」＝「個別の時間」と捉えて対応した。

診療科名	回数
小児科	227
コロナ関連（検査・ワクチン接種）	81
眼科	37
皮膚科	27
整形外科	24
歯科	24
耳鼻咽喉科	16
婦人科	9
発達検査	9
外科	5
内科	4
神経内科	3
３歳時検診	3
救急センター	2
装具外来	2
整形外科	1
整骨院	1

〔学校との連携〕

●「連絡帳」「でんわ」などで　個々の児について　日々　情報・意見交換をした。
●授業参観　運動会ほ か　学校での様子を直接感じ取った。
●新規入所や問題発生時など　ケイスによっては　児童相談所同席の上　相談・協議した。

●小・中学校　養護学校高等部にて　各役員を担当した。

汐見台小学校…	ボランティア委員
松浪中学校…	指名委員
浜須賀中学校…	学級委員
茅ヶ崎養護学校…	学級委員

〔タグボート＋〕 児童相談所職員が委員として参加

●「聞き取り」　全児童対象　全職員対応　１対１で面接。
「被害を受けていないか」「眠れているか」etc
毎月１回実施した。

●「委員会」　聞き取り内容を分析　評価した。
内部のみ　毎月１回
本委員会　年３回
＋県中央児童相談所＋県内児童相談所
＋川崎市児童相談所
＋相模原・横須賀児童相談所

〔防災〕

●個人装備

バックパックを　各自ベッドわきに装備。

（名札/くつ/ブランケット/水 500ml/スーパーバランスビスケット１袋/パン１コ/おでん１缶）

（職員パック＋）

●スケットイレ　100 回分/各長屋

●「171 訓練」

毎月１日・15 日　「171 訓練（災害伝言ダイヤル）」を実施した。

各自が　実際に 171 へ録音する訓練。

「自分の名前」「〇〇にいる」「無事」「自分で帰る/迎えに来て」…

●「防災ミーティング」

月１回　ファーム内委員会実施。

●「避難訓練」

災害を想定し　毎月１回　実施した。

月	日	消火器訓練	想定	避難
4	29	説明・模擬	地震	地震発生・津波なし。屋内待機/点呼/窓越しの情報交換。
5	22	〃	地震・津波	相模湾地震発生。警報発令。窓越しに情報交換。屋上避難。模擬消化は屋上にて。
6	26	〃	地震・津波	津波警報発令。窓越しの情報交換。屋上避難。消火器持ち出し。
7		〃	隔離・被災生活	コロナ感染者/児/濃厚接触者が出たためスクランブル体制で対応した。（隔離生活＝被災生活実践した）
8	22	〃	地震・火災	地震の後　近隣の出火。消火器持ち出し。中庭避難。点呼。プールとの連携に課題。
9	20	〃	地震・火災	地震と近隣の出火。消火器持ち出し。窓から情報交換。中庭避難。
10	17	〃	地震・津波	大津波警報発令。窓越しの情報交換後　屋上へ。点呼。

11	27	〃	地震・津波	大津波警報発令。情報交換後屋内待機。その後屋上へ。
12	16		通報訓練	茅ヶ崎市消防署へ 119 通報。機器の操作　実地確認。（職員のみ）
12	30	〃	地震・火災	地震。近隣からの出火。消化器持ち出し（各長屋から）。窓越しの情報交換。中庭避難。
1	22	〃	地震・津波	大津波警報発令。情報交換後屋上避難。
2	23	〃	地震・火災	大地震。津波なし。隣家から出火。消火器持ち出し。中庭にて点呼。スケットイレ各長屋へ配備。
3	20	〃	地震・津波・炊き出し	大津波警報。窓越しに情報交換。ウェスト・ウィング屋上へ。炊き出し訓練（昼食。個人装備品で消費期限のあるもの。貯水槽からポリタンクへ給水）。

●地域の防災リーダー担当／防災訓練なし。

〔ボランティアとの交流〕

児童との個的なかかわりを重視。長屋専属として交流をお願いしている。

2021 年度　コロナ禍　ボランティアの受け入れを停止した。

〔地域活動〕

新型コロナウィルス感染予防のため　会議への出席　会場提供を控えた。

●「緑が浜自治会」：役員を担当（2 名）
●「松浪地区社協」：委員を担当（1 名）
●「緑が浜自治会」：役員を担当（1 名）
●茅ヶ崎市防災リーダー地区担当（1 名）
●緑が浜自治会「ＡＥＤ」をファーム内へ設置。管理している。
●「汐見台青少年育成推進協議会」：理事を担当。

●会場提供
「緑が浜自治会」／「みどり会」／「ライオンズマンション自治会」／「フラダンス」／「コーラス」

〔会議／委員会（内部）〕

●「打ち合わせ会議」
出勤の全職員　365 日毎朝
＝昨日の出来事／昨夜の様子／体調／本日の予定／ケイスの動き／児相・学校とのやり取りほか　あらゆることの報告　相談　即決　確認　周知の場。

●「キッチン会議」
長屋代表　調理補助職員　月 1 回
＝「食」に関するもの（献立内容／味付け／思考傾向／調理器具についてほか）。

●「週末会議」
長屋代表

＝次週のスケジュール確認。互助のやり繰りなど。

●「職員会議」

＝生活の振り返り／各長屋ごとに家計の検証ほか。

●「長屋会議」

長屋チーム　月１回

＝ケイス会議。全自動個々につき　前月の振り返りと次月への展望。

●「ちがさき・タグボート$^{+}$」委員会

＝「聞き取り」面接を実施した。

全児童対象・全職員対応。　月１回。

検証：　内部にて。　月１回

児童相談所参加にて。　年４回

●「ボランチ会議」

ボランチ　随時

＝入退所の検討　施設運営上の事項

●「クワットロ会議」

クワットロフォルマッジオ

＝運営上の課題

●「ファーム自治会」

長屋代表出席

＝ファーム内共用　共通の問題について　見直しや確認を行った。

●「防災委員会」

防災マニュアルの見直し／防災の計画　確認ほか。

〔研修〕

新型コロナウィルス感染予防のため　会場参加型の出席を控えた。

●神奈川県児童福祉施設職員研究会：運営委員を担当。
●１人年間２件以上参加を義務付け。
●宿泊研修は３年目以上から。

●研修会参加状況

日程	月	テーマ	主催	参加
2021	1	リーダーの指導力、専門性の向上（Web 開催）	神児研	2
	1	リーダーの指導力、専門性の向上（Web 開催）	神児研	2
	1	児童福祉施設長研修（動画視聴型）	全社協	1
	2	食事摂取基準 2020 について（Web 開催）	保健福祉大	1

「新児研」＝神奈川県児童福祉施設職員研究会
「全社協」＝全国社会福祉協議会
「保険福祉大」＝神奈川県立保健福祉大学

〔実習生受け入れ〕

新型コロナウィルス感染予防のため　実習生の受け入れを制限した。
４～５月のみ。以降　停止。

養成機関名称	人数
年間総数	
横浜女子短期大学	９

●実習生についての考え方（通常年）

☛基本のスタンス
「ここへ来て何を学ぶか　何を持ち帰るかは学生次第」
指導めいたプログラムはない。体験の場を提供するのみ。学生が受け身でなく　ここで役に立つことを意識してほしい。そうでない学生は何も持ち帰れない。

☛１人　約１週間　住み込みの現場体験実習。

よくある実習生の感想。

『実習前はとても不安だった』
・・・入所させられたこの子たちの方がよっぽど不安だっただろうことを想像してほしい。
『住み込み実習が辛かった』
・・・あなたは一週間で家へ帰る。子どもは残る。

〔理事/監事〕

理事	柏木郁子・ﾌｨｰﾄﾘｯﾁﾞ・ﾌｨｰﾙｽﾞ緑が浜主任
	小谷内　学・ｻｰﾌｻｲﾄﾞｾﾞﾝ茅ヶ崎ファーム職員
	坂井雅子・主婦（元高校教師）
	田中麻子・ｻｰﾌｻｲﾄﾞｾﾞﾝ茅ヶ崎ファーム職員
	前田れい子・ﾌｨｰﾄﾘｯﾁﾞ・ﾌｨｰﾙｽﾞ緑が浜園長
	吉見　哲・ｻｰﾌｻｲﾄﾞｾﾞﾝ茅ヶ崎ファームキャプテン
監事	飯塚忠孝・会計事務所所長
	和田信男・元知的障害者施設　施設長

（2019 年 6 月 16 日～2021 年 6 月）

●理事会開催状況

新型コロナウィルス感染予防のため　書面審議（決議の省略）で実施した。
各理事の「同意書」　及び幹事の「確認書」をもって理事会決議の省略処理を行った。

2020 年５月 31 日	監事監査報告・決算報告・事業報告・評議員会招集
9月 29 日	経理規程改定・給与規程 Wht 改定
3月２日	給与規程改定 Wht（昇格・扶養家族手当・住宅手当）・就業規則 Frm・茅ヶ崎市施設整備助成金の申請
３月 15 日	事業計画 Frm・事業計画 Wht・当初予算・評議員選任解任委員の選任

〔評議員〕

●評議員選任解任委員

評議員選任解任委員	熊沢洋子（小児科医）
	濵　博文（小児科医）
	金木憲一郎（医療事務員）

☛　評議員選任解任委員（会）を　新たに委嘱（再任）した。
（２０２１年4月１日づけ）

●評議員の選定

６月　評議員選定委員により　新たに評議員の選定を受けた。

以下は　選定された評議員の名簿と任期。

評議員	荒木直躬・社会福祉法人　理事長
	江島正子・大学教授
	熊澤賢蔵・商店　社長
	武富太郎・獣医師
	萩原　篤・歯科医師
	増渕秀俊・元小学校教諭
	和田直熙・児童養護施設　施設長

任期：　2020 年度に関する提示評議員会の終結時（2021 年６月）～
　　2024 年度に関する定時評議員会の終結時（2025 年６月）

●「評議員会」開催状況

「決議の省略による評議員会」を実施した。

2021 年6月

監事監査報告の承認/財産目録の承認/決算の承認/事業報告の承認。

理事・監事の選任。
（任期：2021 年～2023 年）

理事	柏木郁子・フィートリッヂ・フィールズ・緑が浜　職員
	小谷内学・サーフサイドセヴン茅ヶ崎ファーム　職員
	田中麻子・サーフサイドセヴン茅ヶ崎ファーム　職員
	前田れい子・フィートリッヂ・フィールズ・緑が浜　園長
	吉見　哲・サーフサイドセヴン茅ヶ崎ファーム　キャプテン
監事	飯塚忠孝・税理士
	和田信男・元　障害福祉施設　施設長

●「理事会」の開催状況

2021 年６月

理事長を選任した
理事長：吉見哲

●日本人と「ガイジン」

人種　国籍　男女のボーダーレス化

大阪なおみ選手は　ハイチ人の父　日本人の母の子。４才からアメリカで育ちトレーニングを受けた。
見た目はまさに黒人選手そのものであり　プレイも他の日本人選手とはケタ違いにパワフル　かつ　コート上での感情表現も激しい。つまり容貌も身体能力も振る舞いも生活文化も " 日本人離れ " している。

混血選手は　スポーツ界だけに限っても　今やどこにでもいる。ダルビッシュ（野球）　八村（バスケット・ボール）　ケンブリッジ飛鳥（陸上）　酒井兄弟（サッカー）　ベイカー茉秋（柔道）...

茅ヶ崎ファームでも　本人　または親の一方が外国籍（またはハーフクォーター）をもったケイスは少なくない。

日本は長らく単一民族として暮らしてきた。
しかしここ 20～30 年　国外からの流入が急激に増え　それに伴い外国人との間の出産もめ珍しくはなくなってきた。現に　今時どこの高校にも混血生徒が違和感なく在籍している。アフリカ系アジア系アラブ系欧米系。スポーツ選手は特に目立つ存在だ。

その他方で　深刻な労働力不足に悩む日本では　外国人労働者を積極的に導入するようにもなっている。福祉業界にも　すでに外国籍スタッフが普通に働いている現状がある。
地続きであるヨーロッパなら　人種も文化も入り混じりながら　国そのものが多民族で構成されてきた場合が多く　一人複数国籍も稀ではない。それが　" 島国 " 日本であっても　ボーダーレス化が顕著に　しかも急激に表れ始めているということだ。

混血がもっと進めば　民族的　人種的なアイデンティティは曖昧になり　文化風習も色が薄まる。
「日本人って…」　「日本人離れした…」などというステレオタイプな表現も死語になるだろう。

●ＬＧＢＴ

LGBT（ネイミングはもっとたくさんある）認知の広がる世の中で「生物学的男女の区別」はどうなってゆくか。
SEX のボーダーレス化。

「ハイ　じゃあ男子は右に並んで…」
「女子の更衣室はＢ組の教室で…」
こんなことも〝時代遅れ〟で　小学校はやりづらくなるだろう。

「男湯・女湯」「トイレの男・女」「女人禁制」「女性専用」「氏名欄の男・女」…
みんな意味をなさなくなる。

LGBT の人たちは権利を主張する。当然だ。世田谷では同姓のパートナーをいち早く認め　大阪では同性カップルの里親を認めている。その他追随する自治体も増えつつある。
むろん　現実がそこにあり　尊重されるべき人権として　むろん否定するものでもない。

しかしそれでは　「種の保存」の観点からはどう考えるべきか。
日本の人口は　今後さらに激減してゆき　少子高齢化が増々加速してゆくことが予測されている。労働人口が減り税収が減ることは　即　国の弱体化を意味する。

ＬやＧの人たちには（愛し合っていても）永遠に子どもは生まれない。
そこでは　子どもは「愛の結晶」ではない。
この先どうやって子孫が残ってゆくのか。
愛と生殖とは別の問題と考えるべき時代なのか。
血縁の家族は重要ではなくなったのか。
SEX の多様性が認知されると同時に　生物学的親子も意味をなさなくなってきている。

「親子の絆」「親子の情」も　急加速で死語になってゆく。

●生物学的な親子

「赤ちゃんポスト」から１８才に成長した青年の記事があった。
本人が自分について語っている。公に語るくらいだから　むろん本人はポジティブに生きているし　生きていることに感謝している。病院で大切にされれ　里親宅から大学入学を果たし　希望に満ちている。
１５９人　これは赤ちゃんポストから成長した人数だという。

ただその彼をみても　私には " 生んだ責任 " という命題がぬぐえない。

「尊い命が救われた」「子どもに罪はない」という肯定論。生きている赤ちゃんを前にすれば　それを否定はできない。
しかし赤ちゃんポストを考えるとき　「美談」も「お涙頂戴」もいらない。
生まれた後ではなく　生んだ責任が先にあるのだから。
先の青年は『生んでくれてありがとう』と言っている。子は親を否定しないものだ。
しかし一方では『どうせ捨てたんだろ』と言う子も隠れているはずだ。
子は　自分に責任のない欠損を抱えて一生苦悩する。

◆「体外受精」「人工授精」「代理母」「精子バンク」「人工子宮に妊娠を外注する」…
「人工子宮」に「妊娠を外注」して生まれた子がすでにいる。
生まれた子は　そのことを知らされるのだろうか。
それはいつ？
そして　自分をどう受け止める？

不妊の夫婦に福音をもたらすかもしれない先進医療がある。養子縁組による幸せもあるだろう。
しかし　実の父・母が分からない不幸も混在する。自分のルーツ　アイデンティティに　生涯　悩み続けるかもしれないのだ。

出生率の低下。急激な人口減少。労働力不足。その中で「社会的養護」を謳い　行政では（赤ちゃんを含む）子どもを預ける制度を　あたかも自明の理のように推進している。
これは　" 責任を取らない社会 " でもある。
そういう社会システムの中で育った子どもが　そういう価値観で社会を形成してゆく。

●「生んだ責任」と「社会的責任」

「育てられないなら相談して」と赤ちゃんポストも言う通り　現代社会ではそのためのシステムが様々に構築されている。親が子を育てなくても良い　子どもを育てるコストは社会が負うという　社会的養護だ。

〔赤ちゃんポスト／朝の学校給食／ファミリーサポート／放課後児童クラブ／ベビーシッター／家事代行サービス／長時間保育／病児保育〕
（里親／児童養護施設も同列）

◆朝の学校給食

今は苦肉の策であっても　やがて『学校で食べさせてくれるからいいや』となり　そのうち『学校で食べさせるのが当然』という風潮になるかもしれない。

「子」は　早朝　保育所へ預けられる...
夜 19 時に「ファミリーサポート」が迎えにくる...
自宅で「親」の帰りを待つ...
親の帰宅は 21 時？　22 時？
こんな暮らしで　「親子」が共に過ごす時間は何時間あるのだろ。

子どもの病気より仕事が優先されがちな世の中（病児保育）。学校から帰っても家には帰れない（学童保育）。スポーツクラブ　お稽古ごと　塾...
子育てが " 消費 " となって久しい。
赤ちゃんポストも朝の学校給食も　貧困の問題とは限らない。
コストで醸成できない親子の情があったはずだ。濃密な時間が。

（人口減少に歯止めがかからない日本の現状にあっては　赤ちゃんを 1 人でも増やすことは　違った意味で手立てとも言えるが）

【精子提供トラブルで損害賠償３億３千万円】

女性側が提訴した。
＝提供男性が「学歴・国籍を偽っていた」として。
この女性は既婚者で　夫も実子もいる。にもかかわらず「高学歴（の日本人男性）の子を妊娠したい」というのがその希望であった（夫は東大卒であるが遺伝子に難病の疑いがあったからだ）。

精子提供男性の虚偽は妊娠中に判明した。しかし中絶可能期間を超過していたため　女性はそのまま出産。そして子は児童福祉施設へ！
（この女性は臍帯血を利用した再生医療を期待していて　第 1 子ですでにそれを実施している）

この女性の思考はわかった。だとしても　この女性（提供の男性も夫も）が身勝手であることに変わりはない。生んだ子を " 捨てて " いるのだ。これをどう説明するのか。この子は成長して　自分の出自をどう受け止めればいいのか。
一方驚くべきことに　この精子提供トラブルに関して　〔個人間取引の危険性〕や〔提供者が国籍・学歴を偽っていた〕点などを問題視する議論が散見される。いやはやとんだ見当はずれがあるものだ。契約上の問題に視点がいってしまっているではないか。

捨てられた赤ちゃんは！

赤ちゃんが　" 愛の結晶 " ではなく　" 優生の保存 " である点。
そのための精子が " 取り引き " されている点。
そしてその赤ちゃんが " クレーム処理 " されている点。
これこそが問題なのだ！

（精子だけでなく　卵子　子宮（母体）も取り引きされる）

◆ジェンダー

アメリカ・ペンシルベニヤ大の水泳選手が物議を醸した。
２０２０年　それまで男子として競技していたトーマス選手が　女性として登録し　競技を開始。そして記録を次々塗り替える活躍をした。しかし問題はそればかりではなかった。
トーマス選手は女子選手登録ではあったが　男性器がそのままであった。そしてその " 彼女 " が　全裸で女子更衣室内をウロウロすることに " 女子 " 選手から抗議の声が上がったのだ。
身体と身体能力は男性で　レースは女子種目という歪みである。

複雑な混血が多いヨーロッパでは　複数国籍を持つスポーツ選手もまた珍しくない。サッカーW 杯において　２か国以上の国籍を持つ有望選手がどの国のユニフォームを着るかで物議を醸すことが時々ある（大阪なおみ選手もそうだった）。
他方卓球界では　中国生まれの中国人が　競争の激しい故国を捨て外国籍で競技するという屈折した流れがある（中国独特か）。その結果　国別対抗戦でありながら　その実　中国人だらけの大会という現象も起こる。
日本国内にも　" 国体ジプシー " というぬぐえない悪習があったが例えば学生スポーツ界でも　特に強豪校では外国人 " 留学生 " で戦力補強する例は以前から多かった。ところが最近では　正統的な " 日本人混血選手 " が目立つようになっているのだ。どの学校にも当然のごとく存在し　みな中心選手として頭抜けた能力を発揮している。

" 男女別 " も " 国籍別 " も " 民族的出自 " も　そういう区分けが意味をなさなくなる日は　すぐそこだ。分かりやすいはずだったスポーツの世界でさえ　レギュレイション設定にせよカテゴリィ分けにせよ　突き詰めてゆけば　混迷するばかりの様相を呈している。

ゲノム編集　遺伝子組み換え　生殖補助医療　セックス代理人療法　人口受精　体外受精　代理出産　精子バンク　人工子宮　妊娠の外注。。。
技術の発達は　価値基準　倫理観　そして " 人情 " をも変えてしまうことを意味する。否　人類とは全く違う構造　概念の " 人 " が発生するということだ。ユヴァル・ノア・ハラリの言う Homo Deus を待たずして それはやって来る。

●茅ヶ崎ファームでは・・・

◆家族形態が多様

＊ひとり親家庭　再婚家庭が多い
＊離婚再婚が多様
　母子家庭（離婚　父の家出　未婚）
　父子家庭（離婚　母の家出）
＊片方が継父（あるいは継母）
＊内縁関係
＊３度目以上の再婚
＊血縁のない母子家庭
　（実父が子連れで再婚したが家出　離婚。残された連れ子と継母の母子家庭）
＊異父（異母）兄弟姉妹
＊兄妹姉妹がすべて異父（異母）

◆国籍が多様

ウクライナ　ドイツ　フィリピン　韓国　中国　タイランド　カンボジア...
（本人　または親の一方が外国籍（またはハーフ　クォーター）が時々やってくる）

◆茅ヶ崎ファームのトータルテーマは　＂癒しのための巣作り＂
やってくる子を「家の暮らし」で包む。
みな親でも兄弟でもないが＂第２の我が家＂＂もう一つの家族＂としてある。
＂家＂を　スタイルとして形成することでそれを自然に成り立たせる。
「家の暮らし」を　「穏やかで安定した関係」の中で　ただ淡々と続けること。
これが最初から最後までの目的である。

そしてそれを支える長屋。形態としての長屋が　無理なく「互助」を成立させ風通しを生む。これも　暮らしを継続させる重要な要素だ。

耕す。土に空気を混ぜ込む。
茅ヶ崎ファームの職員は全人的に子どもと向き合い　寄り添う。

【国が進める愚。それに従う現場。
児童養護の現場にはたくさんの＂専門家＂を配置できることになっている。

心理　自立支援　職業指導　家庭支援　里親支援。。。
しかし　専門性をありがたがり専任制を敷くことは　職員の分業化であり　時間割化であり　これは " 工場生産における品質管理や効率化 " に倣う思想である。すなわち　「分業で別々に良いパーツを作り」　「それを効率よく正確に組み立てれば良い製品となるはずだ」という思想。これを児童養護施設にも当てはめようとしているわけだ。国も　そしてそれに従う現場も　疑うことなくそこへ進む。
それは違う。
専門家が寄ってたかって子どもを取り囲んでも　取り囲まれた子どもが癒されて健やかに育つことはない。
これは愚だ。

【しかし　だから　『せめて。。。』と思う。
茅ヶ崎ファームへ来たからには　ホッと一息ついてほしい。
第二の我が家。もう一つの家族。おれンち　あたしンち。

茅ヶ崎ファームでは
24 時間 365 日　淡々と　ただひたすら耕し続ける。
その土壌から　やがてみる萌芽を待ち続ける。
暮らしを紡ぐ人の　眼差し　肌触り　体温　気配...。
人を育てる食。それに家。
「家の暮らし」から醸成されるものすべてが　糧となる。

癒しのための巣づくり。
それが茅ヶ崎ファームのトータルテーマだ。

◆　◆◆　◆◆　◆◆　◆◆　◆◆　◆◆　◆◆　◆◆　◆

赤ちゃんと親が見つめ合う。
その瞳の中で感動を共有する。
『おいしいね』『きれいだね』『痛いね』『暑いね』。。。
一つひとつが糧となる。長い年月が重なる。
安心と信頼　そして自信も飛翔も　そこから育まれる。

『産んだことが喜び』『育てることが喜び』であったほしい。